

【本資料は、2020年10月29日付で発表された Standard Chartered PLC 3Q'20 Results (一部抜粋) の日本語参考訳です。】

## スタンダードチャータード PLC – 2020 年第 3 四半期の業績

### 将来に関する記述

本資料には、現在における予想もしくは意見、または将来の事象に関する想定に基づく「将来に関する記述」が記載されていることがあります。かかる「将来に関する記述」は、過去に発生したまたは現在発生している事実のみに関係している記述ではない、という点で識別することができます。「将来に関する記述」には、「可能性がある」「予定である」「期待する」「意向である」「推定する」「予想する」「確信する」「計画する」「試みる」「続ける」といった文言、またはこれらに類似した意味を有する他の文言が使用されています。

こうした記述の内容は、その性質上、既知または未知のリスクおよび不確実性を伴い、また、実際の結果またはグループの計画もしくは目的がかかる記述に明示または暗示される内容と著しく相違する原因となりうるその他の要因によって、影響を受けることがあります。かかる「将来に関する記述」を受領した場合は、それに依拠するべきではなく、またかかる依拠に関して十分な注意を払う必要があります。実際の結果が「将来に関する記述」に明示または暗示される内容と著しく相違する原因はいくつかあります。たとえば、世界、政治、経済、ビジネス、競争、市場、規制に関係する様々な力や状況の変化、将来の為替や金利、税率の改定、将来の事業の統合や売却、その他グループに固有の要因などがあげられますが、これらに限りません。本資料に記載されるすべての「将来に関する記述」は、過去もしくは現在のトレンド、またはグループの活動に基づくものであり、かかるトレンドや活動が将来も続くことの表明とみなされるべきではありません。

本資料に記載される記述はいずれも、利益の予測を意図するものではなく、また、当年度または将来の年度におけるグループの利益が、グループの過去のまたは公表された利益に合致またはこれを上回ることを暗示するものでもありません。それぞれの「将来に関する記述」は、当該記述の日付時点のみにおける記述です。グループは、法令により求められる場合を除き、本資料に記載される「将来に関する記述」の内容が、新しい情報、将来の事象その他により影響を受けるか否かにかかわらず、当該記述の修正または更新を行う義務を、明示的に放棄します。

実際の結果やグループの計画もしくは目的が、かかる「将来に関する記述」に明示または暗示される内容と著しく相違するリスクおよびその要因については、グループの 2019 年アニュアルレポートおよび 2020 年半期レポートをご参照ください。

本資料に記載される内容は、いかなる法域においても、証券その他の金融商品の売買の申し出または勧誘ではなく、また、証券その他の金融商品またはその他の事項に関する推奨または助言でもありません。

他の通貨を指すと記載されている場合を除き、本資料で「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを意味し、「セント」という語または「c」の記号は 1ドルの 1/100 を意味します。

本レポートに記載される情報は監査を受けていません。

文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、本資料において「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区(香港)、マカオ特別行政区(マカオ)および台湾は含まれません。「韓国」という場合は大韓民国を指し、「中華圏・北アジア」(GCNA)には中国、香港、日本、韓国、マカオ、台湾が含まれます。「ASEAN・南アジア」にはオーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナムが含まれ、アフリカ・中東(AME)にはバーレーン、エジプト、イラク、ヨルダン、レバノン、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)が含まれます。

本レポートの表中で、空欄はその数値が開示されていないことを示し、ダッシュはゼロであること、nm は僅少であることを示しています。

スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。グループの本社では、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは HKSE 02888 および LSE STAN.LN です。

### 【参考訳に関するご留意事項】

この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

## スタンダードチャータード PLC — 2020 年度第 3 四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は、報告通貨ベースで 2019 年度としています。特別要因調整後の業績に含まれていない再編関連コストおよびその他の項目の内容は、原文 Standard Chartered PLC 3Q'20 Results の 28 ページに記載しています。

「当行グループでは今まで進めてきた変革の取組みが奏効し、厳しいマクロ経済情勢の下ではありますがしっかりと前へ進んでいくことができています。ウェルスマネジメントとファイナンシャルマーケットのビジネスは好調で、当行グループはイノベーションの原資とするためにコストを統制し、また信用減損に対する引当金も十分に積まれていると考えます。低金利による収益への影響は続いています、若干の遅れはあっても、依然として、財務目標の達成は可能な状況です。これからも、リテールビジネスにいつそう重点を置き、独自のネットワークをより効果的に活用し、効率性を高めることができるように、組織の効率化を進めていきます。」

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

### 戦略的優先事項の進捗状況

- 当行グループはネットワークをより効果的に活用するため、アジア全体を一つの地域に統合しようとしています。
- 当行グループは富裕層向けのビジネスを成長させ、デジタル化と革新にいつそう注力するために、個人向けの複数のオペレーション機能を統合する予定です。バーチャル・バンク「Mox」は香港で稼働を始めました。
- こうした組織変更によって、生産性の向上に向けた取組みが推進されることも期待されます。
- 当行グループの 4 つの大きな最適化市場での利益は、為替変動の影響を除くと、年初から 16%改善しています。
- 当行グループは、持続可能性に向けた取組みを、それが最も重要な意味を持つ地域で進めています。当行グループのサステナブル・ファイナンスの資産の 86%は、最も発展段階の低い市場における資産です。

### 業績の概要(別段の注記がない限り 2020 年第 3 四半期)

- **収益**は従来の予想通り金利の影響を受けて減少し、12%減収の 35 億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは 11%の減収となりました。
  - 為替変動の影響および債務評価調整(DVA)によるマイナスの変動分 3,600 万ドルを除くと、10%の減収になります。
  - ウェルスマネジメントの回復が続きファイナンシャルマーケットのモメンタムも強かったものの、その影響は、金利環境を背景とした逆風によって一部相殺されました。
- **純資金利ざや(NIM)**は 1.23%へ 38bps 低下し、20 年第 2 四半期との比較では 5bp の低下となりました。
  - 当四半期中の金利低下の影響は、債務構成とプライシングの好転によってほとんど打ち消されました。
  - 今後 2 四半期の間に、平均 NIM は現在をやや下回った水準で安定すると予想されます。
- **費用**は 25 億ドルと、前年同期比では 1%改善、為替変動の影響を除くとほぼ横ばいとなりました。
- **信用減損**は 3 億 5,300 万ドルと前年同期を 7,400 万ドル上回りましたが、前四半期比では、2 四半期連続で減少しています。
  - ステージ 1 および ステージ 2 の信用減損額は 1 億 900 万ドル(20 年第 2 四半期は 2 億 1,700 万ドル)。
  - ステージ 3 の信用減損額は 2 億 4,400 万ドル(20 年第 2 四半期は 3 億 9,400 万ドル)。
  - 第 3 四半期中にステージ 3 と CG(行内信用格付け)12 のネットエクスポージャーは 8 億ドル増加、アーリーアラートは 10 億ドル減少して 134 億ドルとなりました。
- **有形資本利益率(RoTE)**は 450bps 低下して 4.4%となりました。
  - 収益の減少を受けて、引当金考慮前の営業利益は 30%減の 10 億ドル、為替変動の影響と DVA を除くと 39%減となりました。
  - 特別要因調整後の税引前利益は 40%減の 7 億ドル、為替変動の影響と DVA を除くと 39%減少しました。

- 法定ベースの税引前利益は 61%減の 4 億ドルとなりました。この数字には、UAE とインドネシアでの営業権(のれん代)減損額 2 億 3,100 万ドルを含みます。
- **リスク加重資産**は 2 億 6,700 万ドルと、2020 年 6 月 30 日時点から 40 億ドル増加しました。
  - 信用格付けの引下げと為替変動の影響は、リボルビング・クレジット・ファシリティの返済とカウンターパーティの信用リスクの低下によって一部相殺されました。
- グループは十分な自己資本と高い流動性を維持しています。
  - **普通株式等 Tier 1 比率**は 14.4%と、目標の 13-14%を超えました(2020 年 6 月 30 日は 14.3%)。
  - **資産預金比率**は 63.8%(2020 年 6 月 30 日時点では 62.7%)、**流動性カパレッジ・レシオ**は 142%(2020 年 6 月 30 日時点では 149%)でした。
  - 当行グループは引き続き、クオリティーの高い預金の獲得を目指しています。個人の当座・普通預金残高は 2020 年 6 月 30 日時点から 8%増加しました。
- **1 株当たり利益**は 13.0 セント(49%)減少し、13.6 セントとなりました。

## 見通し

私たちは第 4 四半期について、昨年の同四半期と同様の季節的要因を予想し、2021 年には、グループが事業を行う国の中で景気後退から抜け出す市場が増え、年間を通じてお客様の需要が増加すると見込んでいます。年初来の大幅な金利低下の影響が市場に完全に反映されるまでには 2 四半期ほどかかり、その間に、純資金利ざや(NIM)が現在を少し下回る水準で安定すると考えます。

低金利が長期化する中、当行グループは、好調なファイナンシャルマーケットとウェルスマネジメントのビジネスを中心に、純金利収入をけん引する要因の最適化に努め、手数料収入の増加にこいそ注力します。また引き続き可能な限り営業費用を削減し、デジタル化のための投資を極大化します。従来の予想通り、2020 年と 2021 年の両年度において、費用は 100 億ドル未満に抑えることができる見通しです。

私たちは、第 3 四半期の信用減損の水準を見て、下半期の減損コストは上半期を下回るという見通しをさらに強めています。来年予想される景気の回復によって資産の質は改善されるものの、一部のセクターや市場では難しい状況が続くと考えます。

当行グループは 2021 年 2 月 25 日に 2020 年通年の業績を発表し、マクロ経済の見通しとともに、戦略的優先事項の進捗状況をご報告します。取締役会はその時点において、当行グループの堅固な資本基盤に鑑み、規制当局とも協議を行った上で、株主の皆様への利益還元再開を検討します。

# 損益計算書

2020年第3四半期

	20年第3四半期 (百万米ドル)	19年度第3四半期 (百万米ドル)	増減 <sup>1</sup> (%)
<b>特別要因調整後ベースの業績</b>			
営業収益	3,519	3,978	(12)
営業費用(英国銀行税を含む)	(2,480)	(2,501)	1
信用減損	(353)	(279)	(27)
その他減損費用	(15)	(5)	(200)
関連会社利益	74	45	64
税引前利益	745	1,238	(40)
普通株主に帰すべき利益/(損失) <sup>2</sup>	428	857	(50)
有形資本利益率(RoTE)(%)	4.4	8.9	(450)bps
費用収益比率(%)	70.5	62.9	(760)bps
<b>法定ベースの業績</b>			
営業収益	3,506	3,959	(11)
営業費用	(2,515)	(2,567)	2
信用減損	(358)	(280)	(28)
営業権(のれん代)減損	(231)	-	nm
その他減損費用	(33)	(60)	45
関連会社利益	66	53	25
税引前利益	435	1,105	(61)
税金	(274)	(333)	18
当期利益	161	772	(79)
親会社株主に帰すべき利益/(損失)	154	761	(80)
普通株主に帰すべき利益/(損失) <sup>2</sup>	123	725	(83)
有形資本利益率(RoTE)(%)	1.3	7.5	(620)bps
費用収益比率(%)	71.7	64.8	(690)bps
<b>バランスシートと資本</b>			
総資産	754,429	734,800	3
総資本	50,570	50,696	-
普通株主に帰すべき平均有形株主資本 <sup>2</sup>	38,934	38,379	1
顧客向け貸付金その他の金銭債権	281,380	269,703	4
顧客口座	417,517	387,857	8
リスク加重資産	266,664	268,668	(1)
総資本	57,051	54,940	4
総資本(%)	21.4	20.4	100bps
普通株式等 Tier 1	38,449	36,386	6
普通株式等 Tier 1 比率(%)	14.4	13.5	90bps
純資金利ざや(%) (調整後)	1.23	1.61	(38)bps
預貸率(%) <sup>3</sup>	63.8	65.6	(1.8)
流動性カバレッジ率(%)	142	133	9
英国レバレッジ率(%)	5.2	5.1	10bps
<b>普通株式 1株当たりの情報</b>			
	(セント)	(セント)	(セント)
1株当たり利益—特別要因調整後ベース <sup>4</sup>	13.6	26.6	(13.0)
—法定ベース <sup>4</sup>	3.9	22.5	(18.6)
1株当たり純資産額 <sup>5</sup>	1,405	1,358	47
1株当たり純有形固定資産額 <sup>5</sup>	1,249	1,199	50
期末時点の普通株式数(百万)	3,149	3,195	(1)

1 資産、債務、リスク加重資産以外については、増減は改善/(悪化)を示します。

2 普通株主に帰すべき利益/(損失)は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier 1(AT1)資本証券の保有者への支払配当を控除した後の数値です。

3 本比率を算出するにあたって、顧客向け貸付金その他の金銭債権の総額からは、リバース・レボ契約等担保貸付金、および、ストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を除いており、一方で、「損益を通じて公正価値で(FVTPL)」保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権を含んでいます。総顧客口座数は、FVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。

4 特別要因調整後ベースまたは法定ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。

5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。

## 補足財務情報

### 顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

	20年第3四半期					
	法人営業部門 (百万米ドル)	リテール バンキング部門 (百万米ドル)	コマーシャル バンキング部門 (百万米ドル)	プライベート バンキング部門 (百万米ドル)	その他の項目 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
<b>営業収益</b>	1,735	1,301	341	129	13	3,519
外部収益	1,680	1,148	320	93	278	3,519
セグメント間収益	55	153	21	36	(265)	–
<b>営業費用</b>	(1,066)	(915)	(225)	(114)	(160)	(2,480)
<b>クレジットコスト・税引前営業利益／(損失)</b>	669	386	116	15	(147)	1,039
信用減損	(132)	(129)	(97)	2	3	(353)
その他減損費用	(12)	–	–	–	(3)	(15)
関連会社利益	–	–	–	–	74	74
<b>特別要因調整後の税引前利益／(損失)</b>	525	257	19	17	(73)	745
再編関連コスト	(12)	(11)	(6)	(1)	(14)	(44)
営業権(のれん代)減損およびその他の項目	–	–	–	–	(266)	(266)
<b>法定ベースの税引前利益／(損失)</b>	513	246	13	16	(353)	435
総資産	338,690	111,275	32,845	13,626	257,993	754,429
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 <sup>1</sup>	167,015	108,828	27,353	13,528	19,087	335,811
総債務	402,786	153,278	44,518	18,641	84,636	703,859
うち顧客口座 <sup>2</sup>	255,631	149,793	41,420	18,507	6,694	472,045
リスク加重資産	138,412	44,845	30,495	6,251	46,661	266,664
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	7.4	11.3	1.3	5.3	(9.3)	4.4
費用収益比率(%)	61.4	70.3	66.0	88.4	nm	70.5

	19年第3四半期					
	法人営業部門 (百万米ドル)	リテール バンキング部門 (百万米ドル)	コマーシャル バンキング部門 (百万米ドル)	プライベート バンキング部門 (百万米ドル)	その他の項目 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
<b>営業収益</b>	1,848	1,323	388	145	274	3,978
外部収益	1,892	1,074	395	86	531	3,978
セグメント間収益	(44)	249	(7)	59	(257)	–
<b>営業費用</b>	(1,098)	(941)	(244)	(134)	(84)	(2,501)
<b>クレジットコスト・税引前営業利益</b>	750	382	144	11	190	1,477
信用減損	(153)	(82)	(28)	(14)	(2)	(279)
その他減損費用	(8)	–	–	–	3	(5)
関連会社利益	–	–	–	–	45	45
<b>特別要因調整後の税引前利益／(損失)</b>	589	300	116	(3)	236	1,238
再編関連コスト	(105)	(8)	–	(4)	(6)	(123)
その他の項目	–	–	–	–	(10)	(10)
<b>法定ベースの税引前利益／(損失)</b>	484	292	116	(7)	220	1,105
総資産	351,672	105,467	34,048	15,143	228,470	734,800
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 <sup>1</sup>	157,380	103,369	29,057	15,007	13,757	318,570
総債務	401,954	143,390	39,300	18,696	80,764	684,104
うち顧客口座 <sup>2</sup>	241,811	139,875	36,634	18,547	11,367	448,234
リスク加重資産	134,388	42,777	32,152	6,649	52,702	268,668
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	8.6	13.9	7.0	(0.9)	7.7	8.9
費用収益比率(%)	59.4	71.1	62.9	92.4	30.7	62.9

<sup>1</sup> 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には FVTPL(損益を通じて公正価値で保有されるもの)が含まれています。

<sup>2</sup> 「顧客口座」には FVTPL(損益を通じて公正価値で保有されるもの)およびレポ契約が含まれています。

地域別の特別要因調整後の業績

20年第3四半期

	中華圏・ 北アジア (百万米ドル)	ASEAN・ 南アジア (百万米ドル)	アフリカ・ 中東 (百万米ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル)	その他の項目 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	1,471	1,034	590	423	1	3,519
営業費用	(938)	(663)	(426)	(360)	(93)	(2,480)
クレジットコスト・税引前営業(損)益	533	371	164	63	(92)	1,039
信用減損	(29)	(128)	(154)	(37)	(5)	(353)
その他減損費用	-	-	1	11	(27)	(15)
関連会社利益	74	-	-	-	-	74
特別要因調整後の税引前利益	578	243	11	37	(124)	745
再編関連コスト	(15)	(7)	(11)	(8)	(3)	(44)
営業権(のれん代)減損およびその他の項目	(35)	-	-	-	(231)	(266)
法定ベースの税引前(損)益	528	236	-	29	(358)	435
総資産	298,430	150,651	61,472	233,772	10,104	754,429
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 <sup>1</sup>	150,598	86,540	31,408	67,265	-	335,811
総債務	266,617	130,794	40,275	225,332	40,841	703,859
うち顧客口座 <sup>2</sup>	215,291	101,376	32,630	122,748	-	472,045
リスク加重資産	92,863	80,123	52,524	43,818	(2,664)	266,664
費用収益比率(%)	63.8	64.1	72.2	85.1	nm	70.5

19年第3四半期

	中華圏・ 北アジア (百万米ドル)	ASEAN・ 南アジア (百万米ドル)	アフリカ・ 中東 (百万米ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル)	その他の項目 (百万米ドル)	合計 (百万米ドル)
営業収益	1,578	1,085	617	467	231	3,978
営業費用	(944)	(671)	(443)	(390)	(53)	(2,501)
クレジットコスト・税引前営業利益	634	414	174	77	178	1,477
信用減損	(70)	(172)	(27)	(15)	5	(279)
その他減損費用	3	-	-	-	(8)	(5)
関連会社利益	43	-	-	-	2	45
特別要因調整後の税引前利益	610	242	147	62	177	1,238
再編関連コスト	(51)	1	(5)	(6)	(62)	(123)
その他の項目	-	12	-	-	(22)	(10)
法定ベースの税引前(損)益	559	255	142	56	93	1,105
総資産	273,854	150,947	57,696	240,925	11,378	734,800
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 <sup>1</sup>	134,775	83,866	29,243	70,686	-	318,570
総債務	237,881	127,451	35,995	244,799	37,978	684,104
うち顧客口座 <sup>2</sup>	190,716	97,478	28,958	131,082	-	448,234
リスク加重資産	86,367	91,668	49,865	44,423	(3,655)	268,668
費用収益比率(%)	59.8	61.8	71.8	83.5	22.9	62.9

<sup>1</sup> 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には FVTPL(損益を通じて公正価値で保有されるもの)が含まれています。

<sup>2</sup> 「顧客口座」には FVTPL(損益を通じて公正価値で保有されるもの)およびレボ契約が含まれています。